

スコットカタログ収録のアメリカの特殊な切手

川原 啓一郎



ニューヨーク 1844.12.25 消印
Scott#20L2

アメリカ政府が郵便業務のために切手を発行したのは1847年7月1日で、5セントと10セントの2種類だった。それ以前にはこのカバーのように、民営の郵便会社が切手を発行し集配業務を営んでいた。このカバーの切手を発行したのはボイドズ・シティ・エクスプレスというニューヨーク市の会社で、1844年6月17日にボイドによってマンハッタンのウォール街近くに設立されている。政府は当局発行以外の切手は無効と告示したもののその後も郵便会社の切手が流通した。



サニタリー・フェア切手
Scott#WV12

サニタリー・フェアは1861年に政府の許可を得た米国衛生委員会が、南北戦争に参加した兵士に政府とは別に、その家族への支援、医療の提供や食料の供給等を行うための募金活動として開催された。フェアで発売される切手は通常の郵便切手ではなく、寄付金として郵便局で販売され封筒などに貼られた。このサニタリー・フェア切手は1864年のグレートセントラルフェア・フィラデルフィアに因み発行された20セントのカラートライアルである。

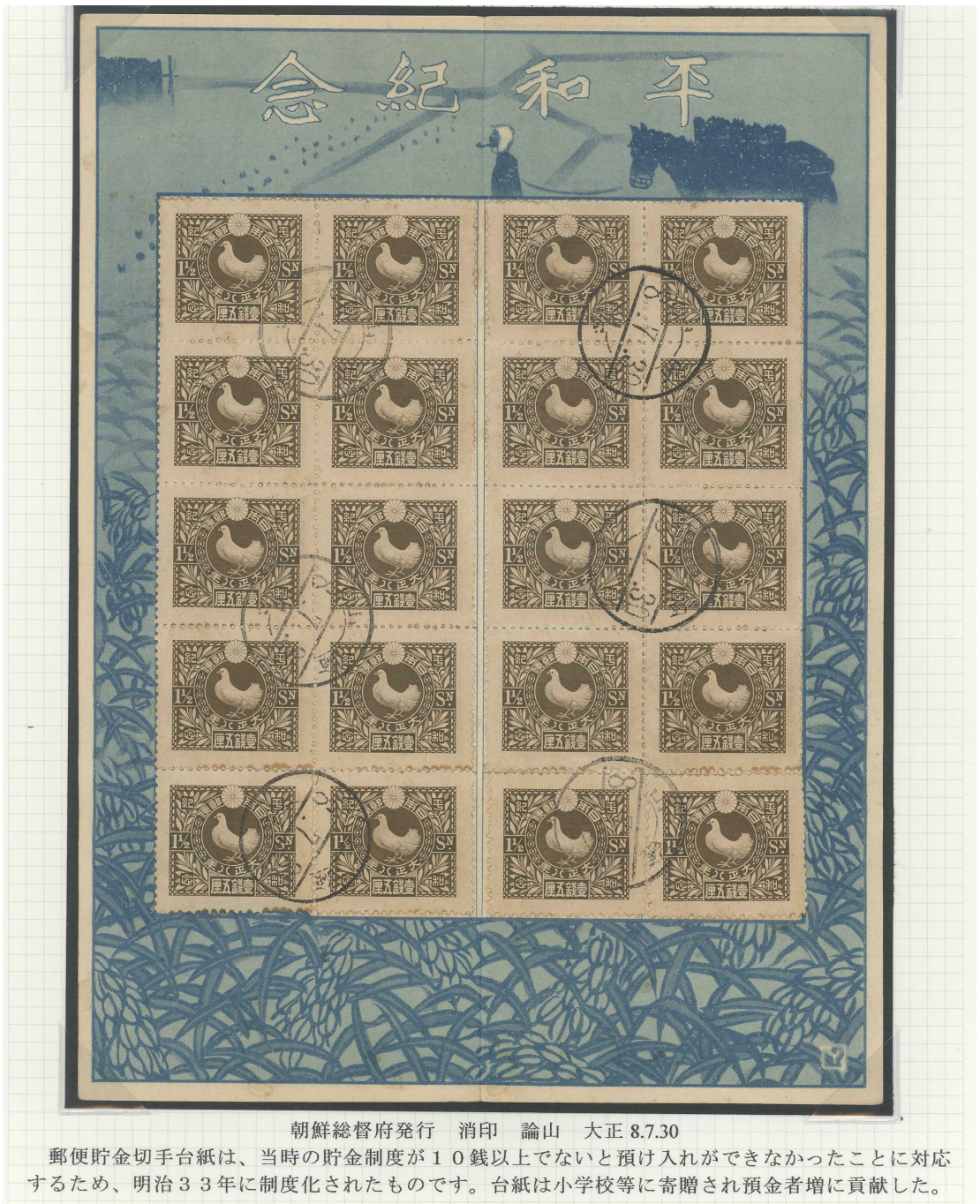
補足：

上記の「サニタリー・フェア切手」の印面下部、「U. S. SANITARY COMMISSION」の表示部分を拡大して、右に示しておきます。(編)



「平和記念」の郵便貯金切手台紙

川原 啓一郎



注：

「日本切手百科事典」を見ると、明治～大正期を中心にさまざまな台紙が発行されていたことがわかります。上の台紙に貼られた20枚の切手の下には、縦書きで「せかいへい わのきねん はちよきん がだいいち」の文字が、1マス1文字ずつ書かれています。(編)